



ビルクリーニング

みなさんの**新たな力**を必要としています！

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 <https://www.j-bma.or.jp/>
ビルクリーニング外国人材受入支援センター <https://ascf.jp/>

1 ビルクリーニングとは

業務内容

建築物内の清掃を行います。

大きく分けて、日常清掃と定期清掃に分かれます。

日常清掃は、頻繁に使用され、汚れの激しい場所を毎日行います。

定期清掃は、汚れの少ない場所や日常清掃で十分にできない場所に対し、念入りに清掃を行います。

床だけでなく、壁、扉、什器など立体面にも気を配り、玄関、廊下、階段、トイレ、事務室など各場所の特徴にしたがって、バランスのとれた美観・衛生を維持する業務です。

床は、日常的にはダストモップなどでちりやほこりを取り除き、トイレや洗面室など汚れやすい箇所は、1日に数回見回って念入りに清掃を行い、トイレトーパーなどを補充します。

働く場所

就職先のビルメンテナンス会社が契約する建築物で清掃を行います。

契約先の建築物は、オフィスビル、ホテル、病院、ショッピングセンターなど様々です。



2 ワーカー

資格等

学歴や資格、経験は必要ありません。会社が丁寧に教えてくれます。

きれい好きで几帳面な人、ホスピタリティ精神を持つ人、共同作業が多いことからチームワークで仕事ができる人が向いています。

スタッフ

日本人の従業員は、他の職業からの転職や定年退職後の再就職など、中途採用も多くいます。また、アルバイトや、女性も多く活躍しています。

スキルアップ

清掃は、スキルアップが可能です。

国家検定資格「ビルクリーニング技能士」があり、実務経験年数に応じて受検することができます。建材・洗剤の知識や、機械や洗剤・床維持剤の使い方などの作業方法を学べば、清掃のプロフェッショナルになれます。



3 労働条件

勤務時間帯

働く建築物によって、勤務時間帯・勤務曜日は異なります。
アルバイトは朝や夕方だけ短時間だけ働きますが、正社員は日中にフルタイムで働きます。
契約先の営業時間外に清掃をしなければならない施設もあり、夜間に清掃を行うこともあります。

給与

正社員は月給制、アルバイトは日給制又は時間給制の場合が多いです。会社によって違いはありますが、福利厚生も整っています。

労働環境

清掃は建築物の中で行うため、天候に左右されることはありません。

東京だけでなく、地方にも建築物はありますので、日本全国に働く場所があります。地方は、東京に比べて給与が若干低いこともありますが、家賃や食費が安く、安全で住みやすいという方もいます。

労働災害撲滅への取り組みも行っています。転倒などの事故はありますが、死亡事故につながることは滅多にありません。

4 ビルクリーニング外国人材の採用状況

会社によっては、外国人材（技術・人文・国際、技能実習、特定技能、留学（資格外活動））を積極的に採用しています。

技能実習生は年々増加傾向にあり、ベトナム人が圧倒的に多いのが特徴です。

日本でビルクリーニングの技術を習得し、母国をきれいにしてみませんか？

